家庭科

科目 家庭基礎

(必修)

授業時数

2 単位

履修学年 1 学年

目 標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。

●学習内容

1 学期 2 0	時間	2 学期 2 8	時間	3 学期 2 2	2 時間
第1章 人の一生と家族・家庭及び福祉	20	第2章 衣食住の生活の自立と設計	28	第1章 人の一生と家族・家庭及び福祉	22
・生涯の生活設計		・衣生活と健康		•高齢期の生活と福祉	
・青年期の自立と家族・家庭		・食生活と健康		・共生社会と福祉	
・子どもの生活と保育		第3章 持続可能な消費生活・環境		第3章 持続可能な消費生活・環境	
第3章 持続可能な消費生活・環境		・持続可能なライフスタイルと環境		・消費行動と意思決定	
・生活における経済の計画				第2章 衣食住の生活の自立と設計	
				・住生活と住環境	

教材

教科書:「家庭基礎 自立·共生·創造」(東京書籍)

副教材:「家庭科ノート 豊かな生活を創造す

る」(啓隆社)

授業の進め方

主体的に生活を創造する資質・能力の育成を目指して、実践的・体験的な学習活動を行う。

具体的には、教科書や学習ノートを中心に授業を進めるが、単元によってはレポート作成やグループ活動を取り入れる。また、定期考査を通して、定着度を測る。

●身に付ける能力とそのレベル

評価の観点		知識・技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
	活用できる	生活を主体的に営むために必要	生涯を見通して、家庭や地域及び	様々な人々と協働し、よりよい社会
	(できる)	な人の一生と家族・家庭及び福	社会における生活の中から問題を	の構築に向けて、課題の解決に
		祉、衣食住、消費生活・環境など	見いだして課題を設定し、解決策	主体的に取り組んだり、振り返って
		の基礎的なことについて理解して	を構想し、実践を評価・改善し、考	改善したりして、地域社会に参画
		いるとともに、それらに係る技能を	察したことを根拠に基づいて論理	しようとするとともに、自分や家庭、
		身に付けている。	的に表現するなどして課題を解決	地域の生活を創造し、実践しようと
			する力を身に付けている。	している。
評価規準	習得する	生活を主体的に営むために必要	生涯を見通して、家庭や地域及び	様々な人々と協働し、よりよい社会
	(わかる)	な人の一生と家族・家庭及び福	社会における生活の中から問題を	の構築に向けて、課題の解決に
		祉、衣食住、消費生活・環境など	見いだして課題を設定し、解決策	主体的に取り組んだり、振り返って
		の基礎的なことについておおむね	を構想し,実践を評価・改善し、考	改善したりして、地域社会に参画
		理解しているとともに、それらに係	察したことを根拠に基づいて論理	しようとするとともに、自分や家庭、
		る技能をおおむね身に付けてい	的に表現するなどして課題を解決	地域の生活を創造し、実践しようと
		వ <u>ె</u>	する力をおおむね身に付けてい	する態度が、おおむね身に付いて
			ప 。	いる。
		定期考查、実習製作作品	定期考查	学習ノート、レポート
評価方法		学習ノート	学習ノート、レポート	グループ学習の取り組み

単元別 評価規準

第1章 人の一生と家族・家庭及び福祉

評価の観点	ξ	知識•技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる 生涯の生活設計、青年期の自立と		人の一生と家族・家庭及び福祉に	様々な人々と協働し、人の一生と
	(できる)	家族・家庭、子どもの生活と保育、	おける問題を見いだして課題を設	家族・家庭及び福祉における課題
		高齢期の生活と福祉、共生社会と	定し、解決策を構想し、実践を評	の解決に主体的に取り組んだり、
		福祉などの基礎的なことについて	価・改善し、考察したことを根拠に	振り返って改善したりして、地域社
		理解しているとともに、それらに係	基づいて論理的に表現するなどし	会に参画しようとするとともに、自
		る技能を身に付けている。	て課題を解決する力を身に付けて	分や家庭、地域の生活を創造し、
			いる。	実践しようとしている。
	習得する	生涯の生活設計、青年期の自立と	人の一生と家族・家庭及び福祉に	様々な人々と協働し、人の一生と
	(わかる)	家族・家庭、子どもの生活と保育、	おける問題を見いだして課題を設	家族・家庭及び福祉における課題
		高齢期の生活と福祉、共生社会と	定し、解決策を構想し、実践を評	の解決に主体的に取り組んだり、
		福祉などの基礎的なことについて	価・改善し、考察したことを根拠に	振り返って改善したりして、地域社
		おおむね理解しているとともに、そ	基づいて論理的に表現するなどし	会に参画しようとするとともに、自
		れらに係る技能をおおむね身に付	て課題を解決する力をおおむね身	分や家庭、地域の生活を創造し、
		けている。	に付けている。	実践しようとする態度が、おおむ
				ね身に付いている。

第2章 衣食住の生活の自立と設計

評価の観点		知識•技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる	食生活と健康、衣生活と健康、住	衣食住の生活の自立と設計におけ	様々な人々と協働し、衣食住の生
	(できる)	生活と住環境などの基礎的なこと	る問題を見いだして課題を設定し、	活の自立と設計における課題の
		について理解しているとともに、そ	解決策を構想し、実践を評価・改善	解決に主体的に取り組んだり、振
		れらに係る技能を身に付けている。	し、考察したことを根拠に基づいて	り返って改善したりして、地域社会
			論理的に表現するなどして課題を	に参画しようとするとともに、自分
			解決する力を身に付けている。	や家庭、地域の生活を創造し、実
				践しようとしている。
	習得する	食生活と健康、衣生活と健康、住	衣食住の生活の自立と設計におけ	様々な人々と協働し、衣食住の生
	(わかる)	生活と住環境などの基礎的なこと	る問題を見いだして課題を設定し、	活の自立と設計における課題の
		についておおむね理解していると	解決策を構想し、実践を評価・改善	解決に主体的に取り組んだり、振
		ともに、それらに係る技能をおおむ	し、考察したことを根拠に基づいて	り返って改善したりして、地域社会
		ね身に付けている。	論理的に表現するなどして課題を	に参画しようとするとともに、自分
			解決する力をおおむね身に付けて	や家庭、地域の生活を創造し、実
			いる。	践しようとする態度が、おおむね
				身に付いている。

第3章 持続可能な消費生活・環境

評価の観点		知識•技能(技術)	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	活用できる	生活における経済の計画、消費行	持続可能な消費生活・環境におけ	様々な人々と協働し、持続可能な
	(できる)	動と意思決定、持続可能なライフス	る問題を見いだして課題を設定し、	消費生活・環境における課題の解
		タイルと環境などの基礎的なことに	解決策を構想し、実践を評価・改善	決に主体的に取り組んだり、振り
		ついて理解しているとともに、それ	し、考察したことを根拠に基づいて	返って改善したりして、地域社会
		らに係る技能を身に付けている。	論理的に表現するなどして課題を	に参画しようとするとともに、自分
			解決する力を身に付けている。	や家庭、地域の生活を創造し、実
				践しようとしている。
	習得する	生活における経済の計画、消費行	持続可能な消費生活・環境におけ	様々な人々と協働し、持続可能な
	(わかる)	動と意思決定、持続可能なライフス	る問題を見いだして課題を設定し、	消費生活・環境における課題の解
		タイルと環境などの基礎的なことに	解決策を構想し、実践を評価・改善	決に主体的に取り組んだり、振り
		ついておおむね理解しているととも	し、考察したことを根拠に基づいて	返って改善したりして、地域社会
		に、それらに係る技能をおおむね	論理的に表現するなどして課題を	に参画しようとするとともに、自分
		身に付けている。	解決する力をおおむね身に付けて	や家庭、地域の生活を創造し、実
			いる。	践しようとする態度が、おおむね
				身に付いている。